

壱岐オブショナルツアー感想文

当ツアーには、壱岐東部漁協の皆さんの他、11名の海女さん、当協会からの18名その他壱岐市の皆さんを含む計64名が参加し、大盛況に終わった。ここに一部の感想文を披露する。

【1. 自分へのチャレンジ】「海の森づくり第3回こんぶサミット」メンバーさんは博学な方々を想像していましたが、実際は行動派で博学な熱心な方がたに圧倒されました。スケジュールは難なくこなせましたが、内容の重みが言葉に言い表せないほど充実していました。講義内容は、経験した方々の豊富な知識を意図も簡単に説明され実際現場に伺うと、ご苦労の連続が実っている様子。貴重な経験をさせていただき感謝でいっぱいでした。経験浅い人間にとって次回企画に参加したい気持ちと、現在8団体加盟している団体の整理を考えさせられました。それだけに今回の壱岐のこんぶサミットは、影響力がありました。幹事様に感謝申し上げます。ありがとうございました。09. 5. 13 佐藤初代（東京都）記

【2. “百聞は一見に如かず”】壱岐の海で立派に育った昆布を見ることができ感激いたしました。特に、ロープで海底から海面に養殖されているのは、鮑やウニの天然の餌場になりそうですね。コンクリート海藻漁礁ですと、海藻の芽をヒトデやウニに食害されて困っているようです。暖かな海でもすくすくと育つ昆布を見て認識を新たにしました。昆布が夏を越せなくても、他の海藻との輪作や混作ができると良いですね。稚魚のゆりかごとして、また、安定収入の見込めるウニや鮑の養殖用飼料や餌場として水産業の振興に役立ち、更に海藻は食料やサプリメントの材料に、残渣はバイオエタノールの原料にもなり、海洋の浄化やバランス維持、CO2固定等の環境改善にも貢献できる海の森づくりは、地球や人類を含む全ての生命のためになる素晴らしい事業だと感じました。09. 05. 13 福井宏海（愛知県）記

【3. 壱岐東部漁協の昆布養殖】壱岐東部漁業協同組合が一丸となり昆布養殖に取り組んでいる姿を実際に視察でき非常に意義深い思いが込み上げてまいりました。最初に感じたのが、浦田組合長のリーダーシップの基、漁業者により海の畑を見事に耕し、その収穫後の利活用まで緻密なまでの計算において行われていた事に驚きました。この他、昆布（海藻）養殖は、光合成においてCO2を吸収し酸素を放出して海中の溶存酸素を増やし他の生態系にも好影響をもたらします。さらに従来の漁業収入と昆布養殖での収入において漁業者の生活基盤の安定にも貢献できる素晴らしい取り組みであると確信いたしました。09. 05. 15 井元秀吉（大分県）記

【4. グリーン・グリーン・グリーン】新緑に恵まれた風薫る生命が躍動する5月の香り キラキラと輝きだした光のプリズムが投射する季節のときめきがクリスタルな世界をつくる。名も無い草も満ながら想いをこめて地上に優しく顔をだしています。青空に山に川に海に大地に幾億年の地球の歴史の風が時空をこえていく。心の故郷の原風景を求めて、求めて。。。新しい発見の旅・新しい価値の創造の度を今日も明日もチャレンジしながら、共生の時代の鼓動を大切にしたい。キラキラとして夏の唄が聞こえてきます。感動の浪よもっとこい！先日海の潮風がキラキラと舞い散る壱岐での「海の森づくりセミナー」に参加し、皆様と一緒に語ることができましてありがとうございました。みなさまとの出会いを大切に、明日へのエネルギーに変えていきたいと思えます。09. 05. 川口稔光（埼玉県）記